

# 7

## グローバル COE「共生のための国際哲学教育研究センター」 「共生」への取り組み

(2009年5月31日現在)

各発表者の所属はイベント当時のものを記し、UTCP は省略する。  
\* は改稿の上で本書に収録する。

### 【1】 共生というテーマにかんするシンポジウムや講演会

◆ 2007年10月21日◆

東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム 1

オープニング・シンポジウム

#### 「いま、共生の地平を問う」

信原幸弘

中島隆博

市野川容孝

山本久美子

西山雄二

早尾貴紀

司会：小林康夫

◆ 2007年11月1日◆

東京大学駒場キャンパス学際交流ホール

国際シンポジウム

#### 「海の旅——文明の出会いと共生」

Adele Dei (イタリア・フィレンツェ大学)

«Viaggi per mare in letteratura: tra resoconto e invenzione»

宮下志朗

«Il viaggio come iniziazione alla vita in letteratura»

Rita Guericchio (イタリア・フィレンツェ大学)

«Immagini del mare nella letteratura del Novecento: tra mito e metafora»

司会：高田康成

進行：村松真理子

◆ 2007年11月19日 ◆

東京大学駒場キャンパス 101号館 2F 研修室

UTCP ワークサロン

「共生はいかに可能か?——佛教への／からの問いかけ」

丘山新

小林康夫

◆ 2007年12月26日 ◆

東京大学駒場キャンパス 101号館 2F 研修室

UTCP ワークサロン

「共生と詩(1)——吉増剛造と《友愛の庭》」

講師：吉増剛造 (詩人)

対話者：小林康夫

◆ 2008年1月28日 ◆

東京大学駒場キャンパス 18号館 コラボレーションルーム 4

講演会

「二言語都市ハイファにおける共生の(不)可能性」

Kais Firro (イスラエル・ハイファ大学)

コーディネーター：小林康夫、早尾貴紀

◆ 2008年4月20日 ◆

東京大学駒場キャンパス 18号館 コラボレーションルーム 1

UTCP 若手研究者シンポジウム

「いま、共生の地平を問う」

串田純一 (東京大学)

「共生あるいは偶然と必然のあい——生物学的投企の解釈から」

古橋紀宏 (東京大学)

「魏晋南北朝時代における礼制の変遷と「共生」

大竹弘二

「国家から文化へ——ヨーロッパ新右翼の政治」

◆ 2008年6月11日 ◆

東京大学駒場キャンパス 18号館 コラボレーションルーム 1

講演会

「科学技術リテラシーと「合理的」市民参加——共生の知の哲学に向けて」

石原孝二

◆ 2008年7月12日 ◆

東京大学駒場キャンパス 18号館 コラボレーションルーム 1

国際シンポジウム

「共生のための中国哲学——台湾研究者との対話」

基調講演：

小林康夫

「法を問う——門の前にて」

1部： 共生のための文学空間 モデレーター：石井剛 (東京大学)

佐藤将之 (台湾大学)

「言語は人民を動かさない——中国古代政治思想における非言語的基調」

鄭毓瑜 (Yu-yu Cheng, 台湾大学)

「舊詩語的地理尺度——以黄遵憲日本雜事詩的典故運用為例」(「古い詩語における地理的尺度——黄遵憲の『日本雜事詩』における典拠の運用を例として」)

喬志航

「王国維の文学」

## 2部：心の哲学と道徳性 モデレーター：信原幸弘

杜保瑞 (Bau-Ruei Duh, 台湾大学)

「心統性情與心即理的心學宗旨」(「心学における「心統性情」と「心即理」の宗旨)

中澤栄輔

「道徳と脳神経科学」

## 3部：宗教と世俗化 モデレーター：村田雄二郎 (東京大学)

曾漢塘 (Hann-Tong Tzeng, 台湾大学)

「台湾宗教現象的若干觀察與省思」(「台湾の宗教現象への省察」)

蔡耀明 (Yao-Ming Tsai, 台湾大学)

「生命之目的與生命之意義的佛教哲學解析」(「仏教哲学による生命の目的と意義に対する解析」)

後藤絵美 (東京大学)

「現代エジプトにおける「世俗」と宗教」

## 4部：中国哲学の「時代」 モデレーター：王前 (東京外国語大学)

林義正 (Yih-Jing Lin, 台湾大学)

「文化治療思維芻義」(「文化治療思惟に対する考察」)

黃冠閔 (Kuang-min Huang, 台湾・中央研究院)

「在曲折中來回的哲學反思——一種地域哲學的處境」(「曲折しつつ往來する哲学的反省——地域哲学が抱える一種の状況」)

◆ 2009年3月28—29日 ◆

台湾大学哲学系館

## 国際シンポジウム

## 「東西哲学の伝統における「共生哲学」構築の試み」

基調講演：

小林康夫

「「新しい人」に向かって——人類の共生の地平」\*

基調講演：

中島隆博

「否定政治学と共生哲学——西田幾多郎と新儒家」\*

杜保瑞 (台湾大学)

「牟宗三の周濂溪解釈に関する方法論的反省」

蔡耀明 (台湾大学)

「一法界の世界観が展開した住地に関する考察及び異なる世界観に対する包容的性  
格——『不増不減経』を根拠とした共生同成の理念」

佐藤將之 (台湾大学)

「共生理念の基礎価値としての荀子の「礼」概念」\*

安井伸介 (台湾大学)

「一元的倫理秩序——中国アナキズムの倫理観」

蔡家和 (台湾・東海大学)

「向、郭注〈齊物論〉における共生精神」

野村英登 (東洋大学)

「静坐と共生——岡田式静坐法の近代性を中心に」

喬志航

「清末民初でのルソー受容」

王前 (東京外国語大学)

「アイザイア・バーリンと丸山真男におけるナショナリズムの思想」

田中有紀 (東京大学)

「凌廷堪の経学と燕楽研究——「理」のもたらす「礼」の共存」

御園生涼子 (日本学術振興会)

“The Politics of Rhetoric: Miki Kiyoshi's Idea of the 'Asian Cooperative Society'”

斎藤拓也 (東京大学)

“The Political Meaning of Kant's Concept of Enlightenment”

森川裕貫 (東京大学)

「章士釗とその「有容」・「不好同惡異」制度」

小野泰教 (東京大学)

「清末における官民の共生——湖南戊戌変法時期の保衛局」

宮崎裕助 (新潟大学)

“Another Possibility beyond the Negative Politics in Democracy: Jacque Derrida's Concept of  
'Decision' and 'Responsibility'”

◆ 2009年3月30日 ◆

台湾中央研究院

## 国際シンポジウム

## 「共生と文化領域——東洋におけるフランス哲学」

Fabian Heubel (何芝筆, 台湾・中央研究院)

« Des enjeux d'une critique « transculturelle », à partir de l'œuvre du dernier Foucault »

楊凱麟 (台湾・中央研究院)

« Géophilosophie transgressante et nomadologie sur place : pour une étude de la philosophie  
française à la langue chinoise »

楊婉儀 (台湾・中央研究院)

« Une philosophie pour l'Humain : Sage raisonnement fondé sur la pensée d'Emmanuel Lévinas »

張國賢（南華大学）

« S/M et la pensée du temps chez Deleuze »

Naveh Frumer

“Sovereignty and Potentiality: Butler and Derrida on Agamben”

千葉雅也（東京大学）

“The Limit of Stupidity: Animal Otherness Suspended between Deleuze and Derrida”

大橋完太郎（東京大学）

“Toward a New Media-aesthetic Theory: An Interpretation of the Encyclopedic Ideal of Diderot”

星野太（東京大学）

“On the Differend: Lyotard, Habermas, Rancière”

◆ 2009年4月11日◆ 東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム 1

オープニング・イベント

「人類・歴史・共生——21世紀における「歴史学」の課題」\*

羽田正

橋本毅彦

中島隆博

司会：小林康夫

## 【2】イスラーム理解講座

◆ 2007年10月25日◆ 東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム 1

UTCP イスラーム理解講座第1回

「全人間的宗教としてのイスラーム」

鎌田繁（東京大学）

◆ 2007年11月22日◆ 東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム 1

UTCP イスラーム理解講座第2回

「『イスラーム世界の創造』とその後」

羽田正

◆ 2007年12月19日◆ 東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム 1

UTCP イスラーム理解講座第3回

“Muslims Today: Image and Realities” \* “Islam: Image and Realities” と改題

Karim D. Crow（シンガポール・南洋理工大学）

◆ 2008年2月8日◆ 東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム 1

UTCP イスラーム理解講座第4回

「イスラーム的学知の担い手たち——12世紀東イランのある博学者の肖像」

森本一夫（東京大学）

---

◆ 2008年6月6日◆

東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム 3

UTCP イスラーム理解講座第5回

「なぜいまイスラーム復興なのか——近現代イスラーム思想史から考える」

飯塚正人 (東京外国語大学)

---

◆ 2008年7月18日◆

東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム 3

UTCP イスラーム理解講座第6回

「サウジアラビア王国の国家と宗教」

中村覚 (神戸大学)

---

◆ 2008年10月21日◆

東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム 1

UTCP イスラーム理解講座第7回

“Islamic Law, Human Rights and the State: The Case of Contemporary Egypt”

Clark B. Lombardi (アメリカ・ワシントン大学)

---

◆ 2009年3月16日◆

東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム 1

UTCP イスラーム理解講座第8回

“No god but God: The Origins, Evolution, and Future of Islam”

Reza Aslan (ライター, 宗教学者)

共生の哲学のために

中島隆博・小林康夫 編

2009年6月11日発行

発行人 —— 小林康夫

発行所 —— 東京大学グローバルCOE「共生のための国際哲学教育研究センター」

The University of Tokyo Center for Philosophy (UTCP)

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

編集人 —— 前田晃一・UTCP

装幀 —— 平倉圭

印刷・製本 —— ディグ

〒104-0043 東京都中央区湊 2-8-7

Copyright © 2009 by UTCP

ISSN 1882-742X

Printed in Japan